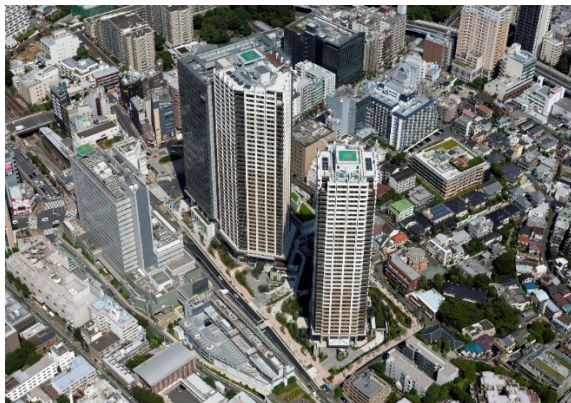
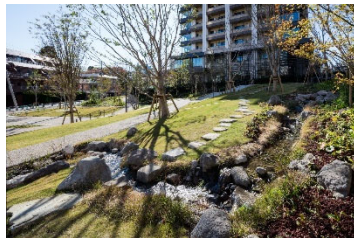
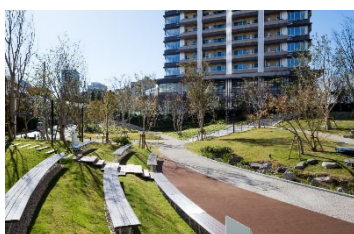
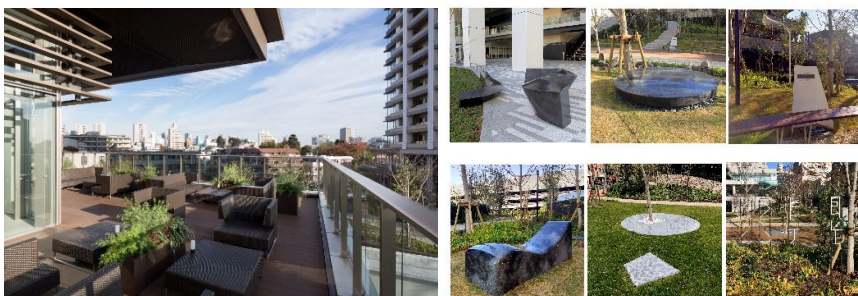


建物名称	Brillia Towers 目黒		
所在地	東京都品川区		
施工年	2017 年		
構造・構法・規模	R C、S		
事業者名	大成建設株式会社		
設計者・施工者 (改修業者)	基本設計：日本設計 実施設計・監理：大成建設(レジデンス・外構) 竹中工務店(オフィス) 設計共同企業体 施工：大成建設(レジデンス・外構) 竹中工務店(オフィス) 設計共同企業体		
増改築・リフォーム の種別	—		街に開かれた街と共に成熟する森     高低差のある地形を街並みに自然に馴染ませる広場の設え。 地域の人が立ち寄り寛ぐことのできる、駅前から住宅地を結ぶ貫通通路と広場の設え。
新築・増改築・ リフォーム のテーマ・特徴	目黒駅前の賑わいある商業地域と周辺の閑静な住宅地域をつなぐ大規模敷地の市街地再開発事業である。 駅前オフィス低層部には都市の賑わいを連続させる「文化の広場」を設け、業務・商業店舗ゾーンを通り抜けると、2つの住宅棟の間に広がる緑豊かな「森の広場」に繋がり、さらに住宅地に繋がることで新たな街並みを創造している。		
採用された 環境共生要素技術	省エネ	—	
	省資源	・ S I（新T-F L A T/S I住宅の発展形）	
	親和性	・ 地形を生かしたランドスケープ・緑化	
	健康快適	・ 地域に開かれた広場、ランドスケープアート ・ 共用部テラス	
先導事業・認定等 の取得	—		



地下に構造物の無い大地に根ざした森

城南五山のひとつである花房山を再生し、土地の歴史、気候・地理条件を生かした森づくりを計画。東側の住宅地に開くように建物を配置し、周辺と一帯となる広場を作ることで街全体の回遊動線を促し、街とともに成熟する森づくりを目指した。



レジデンス棟共用部に計画した森の広場を望む開放的なテラスや、森に佇むランドスケープアートが森と人との間に介在し、都会の生活で失われつつある自然に対する気付きや触れ合いを促す。

環境共生要素技術を 導入した効果	・ 目黒駅前の賑わいある商業地域と周辺の閑静な住宅地域地の間のバッファーとなる広場配置と、地域住民が気軽に立ち寄ることができる広場の設えにより、地域の人や来訪者の安らぎの場となっている。
---------------------	---